

(別紙)

審査基準

下表の基準に従って審査員が、企画提案書等について評価の視点をもとに評価したものを審査点(100点満点)とする。最終的に各審査員の審査点を合計して総合点を算出し、最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、順位決定を行う際に、同位の企画提案書等が複数ある場合は、審査員全員の多数決により順位を決定する。

なお、審査員の1名以上が内容点の評価項目のうち1項目でも評価点2点未満とした場合(⑩を除く)、又は審査点が40点未満の場合は失格とする。

評価項目			評価の視点	計 100 点 配点
業 務 遂 行能力 (30)	参加者の経営状況等		① ・会社規模、財務状況、業務実施スケジュールを含め提案された内容の実現が可能と判断できるか。	5 点(評価点) ×1=5 点
	本業務の実施体制		② ・プロジェクトチームの編成、人員、関連会社、協力会社等、十分な能力と経験を有する者が配置され、業務を円滑に進める体制が確保されているか。	5 点(評価点) ×2=10 点
	類似事業の実績		③ ・類似事業の実績やノウハウについて、業務遂行に活かすことが期待できるか。	5 点(評価点) ×2=15 点
企 画 提 案内容 (65)	企画 内容	業務の理解度	④ ・企画提案内容について、本業務の趣旨・目的を正しく理解し、その目的に沿った的確な企画コンセプトが示されているか。	5 点(評価点) ×1=5 点
		専門性	⑤ ・「空飛ぶクルマ」をはじめとするエアモビリティに関する専門的な知見や、実証飛行に必要な法制度面、技術面等の専門的な知見による、精度が高く効果的な企画提案がなされているか。	5 点(評価点) ×3=15 点
		実証計画の策定・具体化、事前準備	⑥ ・実証計画について、実証実験関係者の検討手法や実施ステップが効果的で実現性の高い提案となっているか。 ・実証実験が円滑に実施できるよう、事前準備に必要な項目や実施ステップが現実的かつ効果的な提案となっているか。	5 点(評価点) ×3=15 点
		実証実験の実施・運営	⑦ ・実証実験において取得するデータの取得手法、乗客(モニター)の選定方法(アンケート内容含め)、実施ステップが実現性の高い提案となっているか。	5 点(評価点) ×2=10 点
		実証実験の結果のとりまとめ・成果報告	⑧ ・実証実験で得られるデータやアンケートの内容を的確に分析・整理する手法やとりまとめに際した実施ステップについて、効果的な提案となっているか。	5 点(評価点) ×2=10 点
		推進ネットワークの企画・運営支援	⑨ ・やまなし空の移動革命・社会実装推進ネットワークの活動趣旨を正しく理解し、効果的な企画内容が提案されているか。 ・推進ネットワークの活動が有益なものとなるよう、エアモビリティに関する有識者や企業等との効果的なネットワークを有しているか。	5 点(評価点) ×2=10 点
価格点 (5)	見積額		⑩ ・見積額(消費税及び地方消費税を含む)は安価であるか。 5 点×参加者中の最低見積額/参加者の見積額	5 点(評価点) ×1=5 点